

メキシコ株ファンド

～魅力的な投資タイミングを提供するメキシコ株式市場～

2018 年 2 月 21 日

お伝えしたいポイント

- ・ NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉だけでなく、大統領選挙も 2018 年の注目材料
- ・ 魅力的な水準で取引されているメキシコの株式市場と為替市場
- ・ 不透明要因で出遅れている今こそ、中長期的にみれば魅力的な投資タイミング

<NAFTA 再交渉だけでなく、大統領選挙も 2018 年の注目材料>

メキシコと米国、カナダの 3 カ国は 2017 年 8 月より NAFTA(北米自由貿易協定)の再交渉を開始して以来、高頻度で交渉会合を開催しており、2018 年 1 月末に第 6 回会合を終えました。いくつかの分野で進展していますが、貿易赤字の削減を目標として掲げ、メキシコ・カナダに対して譲歩を迫る米国と、大幅な変更を望まないメキシコ・カナダの温度差は大きく、協議は難航しています。2018 年後半にはメキシコ大統領選挙や米国中間選挙があるため 2018 年中の合意形成は難しく、交渉の妥結は 2019 年にずれ込む可能性が高まっています。NAFTA の行方が定まらないことで設備投資が抑制され、当面のメキシコ経済に若干の悪影響を与えますが、時間をかけて交渉することは 3 カ国が納得できる形で最終合意に至る可能性を押し上げるため、株式市場にとってはポジティブな展開とみています。

今後は、2018 年 7 月に予定されているメキシコ大統領選挙にも徐々に注目が集まると考えています。現時点では、大統領選挙に 2 度の出馬経験がある左派政党 Morena(国家再生運動)党首オブラドール氏が世論調査をリードしています。そのオブラドール氏を、与党 PRI(制度的革命党)の候補者である前財務公債相ミード氏と、野党 PAN(国民行動党)・PRD(民主革命党)の候補者アナヤ氏が追う展開となっています。4 月から選挙戦が本格化するにつれて、各候補者の政策や支持率動向がより一層注目を集めていくと予想されます。

現政権が行った通信・メディア改革やエネルギー改革などの構造改革は、競争促進による投資拡大や産業の効率化を通じてメキシコの中長期的な経済成長率の引き上げを図るもので、投資家の支持を集めています。オブラドール氏は、メキシコのエネルギー資源を国内外の民間資本に開放するエネルギー改革に強く反対しており、一部の投資家は同氏がエネルギー改革を覆そうとすることを懸念しています。しかし、構造改革に変更を加えるには議会と地方自治体のそれぞれにおいて過半数の支持が必要です。今回の大統領選挙と同時に実施される上院・下院議会の選挙ではいずれの政党も過半数を上回るとは難しいと予想されているため、オブラドール氏勝利のシナリオであっても構造改革は維持されるとみています。オブラドール氏が勝利した場合には、構造改革の行方への過度な懸念からメキシコの株式や通貨は一時的に下落する可能性があります。投資家が落ち着きを取り戻すにつれて株式や通貨は反発するとみています。一方、ミード氏やアナヤ氏は構造改革を支持しているため、どちらかの候補が勝利した場合には、市場は不透明感の解消を素直に好感し、メキシコの株式や通貨は上昇するとみています。

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

＜魅力的な水準で取引されているメキシコの株式市場と為替市場＞

トランプ政権誕生時は対米通商関係の不透明感がメキシコ経済に悪影響を与えるという不安が強かったものの、メキシコ経済は安定して成長を続け、企業業績は順調に拡大しています。メキシコ株式市場で上値の重い展開が続いた結果、バリュエーションが徐々に低下しており、代表的なバリュエーション指標である12ヵ月先予想PER(12ヵ月先の1株当たり純利益予想に基づいた株価収益率)を見た場合、メキシコの代表的な株価指数であるボルサ指数は過去5年平均を下回る水準で取引されています。

《ボルサ指数の推移》

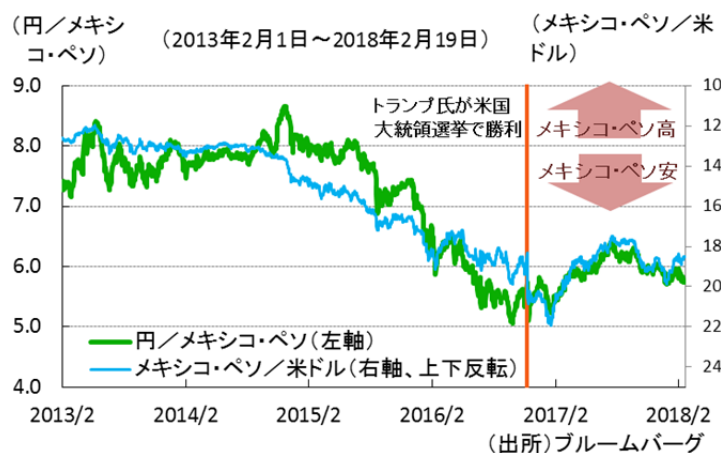


《ボルサ指数の12ヵ月先予想PERの推移》



通貨メキシコ・ペソについても、割安感がある水準で取引されています。メキシコの歳入は原油への依存度が高いため、2015年以降の原油価格下落に伴い、メキシコ・ペソは大きく下落しました。また、2016年11月の米国大統領選挙後は、トランプ政権の保護貿易主義的政策への懸念から一段安となりました。その後やや反発しましたが、長引くNAFTA再交渉やメキシコ大統領選挙を前に、上値が重い展開となっています。

《メキシコ・ペソ(対円、対米ドル)の推移》

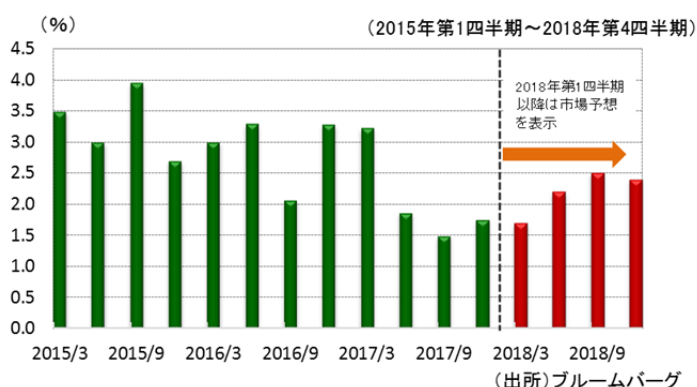


<不透明要因で出遅れている今こそ、中長期的にみれば魅力的な投資タイミング>

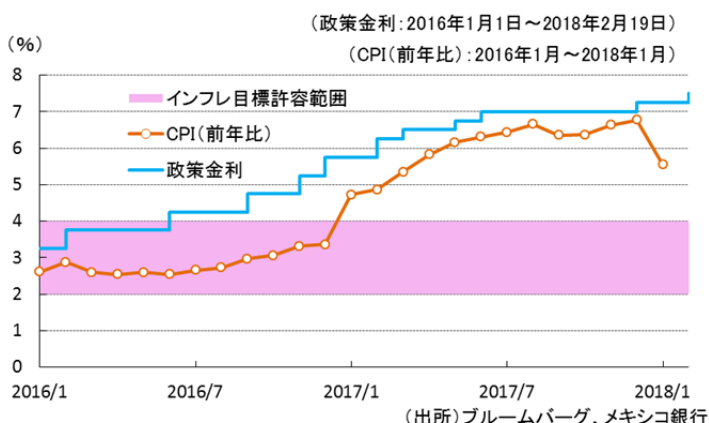
メキシコ株式市場には、労働力人口の増加、競争力の高い輸出産業、エネルギー改革に代表される構造改革、経済成長に伴う金融サービスや航空運輸業の普及率の上昇など、魅力的なテーマや投資機会が豊富です。しかし、NAFTA 再交渉と大統領選挙という 2 つの不透明要因を前に、市場は慎重姿勢をいまだ崩していません。また、足元ではインフレ(物価上昇圧力)が低下を始めているものの、インフレへの警戒からメキシコ銀行(中央銀行)が利上げ姿勢を維持していることも、株式市場にとってはマイナス要因となっています。逆に言えば、不透明要因の解消や、インフレが沈静化してメキシコ銀行が利下げに転じることにより、株式市場のバリュエーションが切り上がる余地があるため、現在の株価水準は中長期的にみれば魅力的な投資タイミングを提供していると考えられます。

メキシコ・ペソ(為替市場)について、高水準のインフレに対処するために適時利上げを行うなど、メキシコ銀行の慎重な金融政策姿勢がメキシコ・ペソを下支えするとみていますが、株式市場同様に不透明要因が解消すれば反発余地があると想定しています。

《実質 GDP(国内総生産)成長率(前年同期比)》



《政策金利とCPI(消費者物価指数)の推移》



<当ファンドの運用について>

当ファンドのポートフォリオについては、上記の不透明要因と中長期のポジティブな見通しの双方を意識した構成としています。具体的には、不透明要因に備え、業績の安定度が高く、市況の不安定さの影響を受けにくい食品銘柄やパイプライン銘柄などを組み入れています。また、中長期的にメキシコの経済成長を見越し、高い成長率にも関わらず割安なバリュエーションで取引されており、不透明要因が解消すれば株価上昇が期待できる金融銘柄やホテル銘柄などを組み入れています。

足元の市場環境のように一時的に株式市場や為替市場が不安定となる局面では、当ファンドの基準価額への悪影響は避けられません。しかし、市場が冷静さを失い、多くの銘柄が一斉に売られてしまう結果、ファンダメンタルズが良好な銘柄を割安に購入するチャンスでもあり、ファンドの中長期的なパフォーマンスにはプラスの効果をもたらすと考えます。今後も良好なパフォーマンスを目指し、短期的な市場の変動に惑わされることなく、個別企業の業績見通しや株価バリュエーションなどに着目した冷静な銘柄選別を行ってまいります。引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜基準価額・純資産の推移＞

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2018年2月20日現在

基準価額	9,032 円
純資産総額	300百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-2.6 %
3カ月間	+1.8 %
6カ月間	-7.3 %
1年間	+14.0 %
3年間	----
5年間	----
年初来	+2.8 %
設定来	-9.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜ご参考＞当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

・メキシコ金融政策(2018年2月)～メキシコ銀行は0.25%ポイントの追加利上げを実施。次回さらに利上げの可能性も～

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180209_3.html

・メキシコ金融政策(2017年12月)～メキシコ銀行は0.25%ポイントの利上げを実施。引き続き NAFTA 再交渉の進展に注目～

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171215_1.html

・メキシコの地震の状況と金融市場への影響について(2017/9/20)

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170920_1.html

・メキシコ金融政策(2017年8月)～政策金利は据え置き、NAFTA 再交渉に引き続き注目～(2017/8/15)

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170815_1.html

・メキシコ金融政策(2017年6月)～利上げは今回で打ち止めに視野に。今後は NAFTA 再交渉の行方に注目。～(2017/6/23)

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170626_1.html

・メキシコ中央銀行は政策金利を引き上げ～物価上昇への対応が続く～(2017/5/19)

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170519_3.html

・メキシコは米国に追随して利上げを実施 経済の先行きには楽観的な見方も(2017/3/31)

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170331_1.html

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

メキシコ株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- メキシコの株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. メキシコの株式等に投資します。
 - ◆ メキシコの株式等には、DR（預託証券）、リート（不動産投資信託）および株価指数を対象指数としたETFを含みます。また、メキシコから売上または利益の大半を得ていると判断する企業の株式に投資する場合があります。
 - ◆ 運用にあたっては、以下の方針を基本とします。
 - ・時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。
 - ・投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。
 - ・株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 2. メキシコの株式等の運用は、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドが行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・マザーファンドは、「メキシコ株マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、リートの価格変動）」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」
※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

メキシコ株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.782% (税抜 1.65%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

- ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

メキシコ株ファンド 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。